

SL04 薬学からひろがる私たちの未来～いのちの本質も小説の楽しみも薬学が教えてくれた～ Expanding the Future from Pharmaceutical Sciences

瀬名 秀明 (Hideaki SENA)

作家 (Writer)

瀬名秀明氏のプロフィール

薬学出身の作家。薬学博士。日本薬学会会員。薬剤師。本格的に科学を語れる数少ない作家の一人、仙台在住。静岡市に生まれた。1986年、県立静岡高等学校を卒業後、東北大学薬学部に入學、卒業と同時に東北大学文部技官、さらに、同大学院薬学研究科修士課程（指導教授：橋本嘉幸教授、当時）を経て、1996年、博士課程（指導教授：鈴木康男教授、水柿道直教授、当時）を修了、薬学博士。1997年3月まで東北大学薬学部研究生、同年4月より宮城大学看護学部講師、2006年～2009年、東北大学機械系特任教授を歴任。

大学院在籍中、1995年に『パラサイト・イヴ』を著し、第2回日本ホラー小説大賞受賞、ベストセラーとなった。これにより作家デビュー。本書は英語、中国語、韓国語などにも翻訳され、各国で出版されている。1997年には、映画『パラサイト・イヴ』（監督：落合正幸、主演：三上博史、葉月里緒奈＝当時は里緒菜）が公開された。同年、『BRAIN VALLEY』（上下）刊行、1998年『BRAIN VALLEY』で第19回日本SF大賞受賞。『「神」に迫るサイエンス—BRAIN VALLEY 研究序説—』（監修・共著）刊行、以後、講演録『小説と科学—文理を超えて創造する』（1999年）、『八月の博物館』、共著『ミトコンドリアと生きる』（2000年）、『ロボット21世紀』、『虹の天象儀』（2001年）、『あしたのロボット』（後に改題『ハル』）、アンソロジー『贈る物語 Wonder』（2002年）、編著『ロボット・オペラ』、対談集『科学の最前線で研究者は何を見ているのか』、共著『岩波講座ロボット学1 ロボット学創成』（2004年）、『デカルトの密室』、共著『脳と心の正体に迫る』（2005年）、『第九の日』、『おとぎの国の科学』、共著『境界知のダイナミズム』（2006年）、絵本『ぼくたちのロボット』、共著『ミトコンドリアのちから』（2007年）、『エヴリプレス』、『瀬名秀明ロボット学論集』、編者『サイエンス・イマジネーション』（2008年）、共著『ロボットのおへそ』、旅行エッセイ『大空の夢と大地の旅』、共著『パンデミックとたたかう』、『インフルエンザ21世紀』（鈴木康夫監修）（新刊紹介、ファルマシア、45(8)2009）（2009年）、共著『未来への周遊券』、監修『東大博士が語る理系という生き方』、『ロボットとの付き合い方、おしえます。』（2010年）など著書多数。小説の最新作は藤子・F・不二雄原作『ドラえもん のび太と鉄人兵団』（2011年2月刊行）。小説の他にも、文芸誌や科学誌で科学と人間に関するコラムや対談活動を展開。

ペンネームの瀬名は、生地の静岡市にある地名「瀬名」に拠る。ホームページ：瀬名秀明の博物館；
<http://www.senahideaki.com/>

なお、ファルマシアに下記の関連記事がある。

インタビュー：ホラー小説大賞受賞新人作家の誕生

薬学部大学院生 鈴木秀明氏に聞く

インタビュー：松本容彦（財食品薬品安全センター秦野研究所化学部長、当時）

ファルマシア 31(10)、1123-1126(1995)